お子様を車に乗せる際の注意事項について

1. ※お子様を車に乗せる際は 、必ずチャイルドシートを使用しましょう

【注意!!】 シートベルトは成人用に作られています。このため、子供がチャイルドシートを使用せずシートベルトを装着した場合、衝突時に体を適切に保護できず、首等に重大な傷害が発生するおそれがあります。また、抱っこも大変危険です。

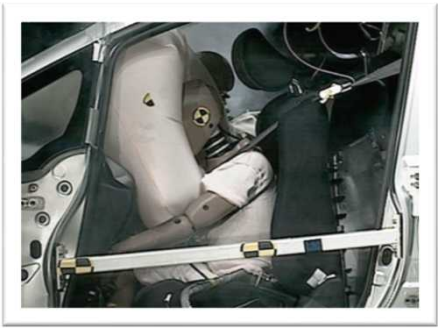
（出典）一般社団法人日本自動車連盟（JAF）

（出典）一般社団法人日本自動車連盟（JAF）

※　６歳未満の子供を乗せる場合は、チャイルドシートを使用しなければならないこととされています。
チャイルドシートは、お子様の体格にあったものを選びましょう。

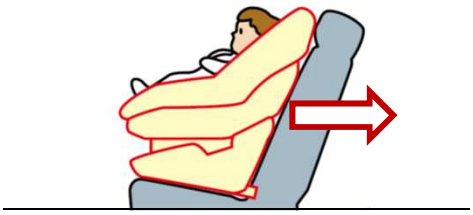
2. お子様はできるだけ後部座席に乗せるようにしましょう

【注意!!】 助手席では、膨張するエアバッグにより子供に被害が及ぶ場合があります。



エアバッグは、衝突時に乗員の被害を軽減する安全装置ですが、成人の体型を前提に設計されているため、体が小さい子供には、適切に機能しないことや、被害を大きくすることがあります。

助手席にチャイルドシート（※）を取り付ける場合は、助手席のシートを一番後ろに下げて前向きに取り付けてください。

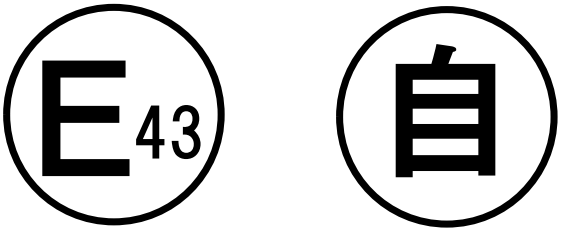


※　助手席に後ろ向きチャイルドシートを取り付けることは危険です。

3. 国の安全基準への適合が確認されたチャイルドシートを使用しましょう

【注意!!】 国の基準に不適合のチャイルドシートでは、衝突時に子供を守れません。

国の安全基準への適合が確認されたチャイルドシートには、以下のいずれかの表示があります。



※「43」以外の番号が付されている製品も適合品です。

表示の例

国土交通省　警察庁 National Police Agency